

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成22年9月2日(2010.9.2)

【公表番号】特表2008-522750(P2008-522750A)

【公表日】平成20年7月3日(2008.7.3)

【年通号数】公開・登録公報2008-026

【出願番号】特願2007-545616(P2007-545616)

【国際特許分類】

A 6 1 M 5/315 (2006.01)

A 6 1 M 5/24 (2006.01)

【FI】

A 6 1 M 5/315

A 6 1 M 5/24

【手続補正書】

【提出日】平成22年7月9日(2010.7.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

自動注入アSEMBリであって、
リブを有するプランジャロッドと、
注入バネと、

第1の開口部及び内径を有する内部ハウジングであって、前記注入バネが当該内部ハウジングを取り囲んでおり、前記プランジャロッドが前記内径内に配置されている内部ハウジングと、

バネ台及びショルダを有するカップリングであって、前記バネ台が前記第1の開口部を通り抜けて延在して前記注入バネを受けるように、又前記ショルダが前記内径によって第1の位置へと圧縮されるように、前記内径内に配置されており、前記ショルダが前記第1の位置において前記リブと係合するカップリングと、
を有する自動注入アSEMBリ。

【請求項2】

前記内部ハウジングは更に、注入方向に沿った所定の位置に画成された第2の開口部を有する請求項1に記載のアSEMBリ。

【請求項3】

前記第2の開口部は、前記ショルダが前記内部ハウジングを通り抜けて第2の位置へと弾性的に偏位することを許し、前記ショルダは前記第2の位置において前記リブから解放される請求項2に記載のアSEMBリ。

【請求項4】

前記注入バネは、前記カップリングに作用して前記プランジャを前記注入方向に推進させる請求項2に記載のアSEMBリ。

【請求項5】

更に、前記注入バネを圧縮状態に維持する始動装置を有し、前記ショルダは前記圧縮状態において前記第2の開口部から離れている請求項2に記載のアSEMBリ。

【請求項6】

前記始動装置は、該始動装置が2方向に動くことで、前記注入バネを前記圧縮状態から

解放する請求項 5 に記載のアセンブリ。

【請求項 7】

前記パネ台は、前記ショルダに対して、放射方向及び軸方向においてずれている請求項 1 に記載のアセンブリ。

【請求項 8】

更に、前記プランジャロッド、前記注入パネ、前記内部ハウジング及び前記カップリングを収容するハウジングを有する請求項 1 に記載のアセンブリ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

図 4 ~ 図 8 を参照して自動注入アセンブリ 12 の動作を説明する。注入アセンブリ 12 は、注入パネ 24、プランジャロッド 26、始動装置 28、カップリング（連結器）30（図 7）、及びハウジング 11を有し、ハウジング 11 は注入パネ 24、プランジャロッド 26、カップリング 30 及び内部ハウジング 56 を収容する。注入パネ 24 は、プランジャロッド 26 の周囲に配置され、又カップリング 30 によってプランジャロッドに駆動可能なように係合されている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

始動装置 28 は、上端部 32 及び下端部 34 を有する。注入アセンブリ 12 は、始動装置 28 を方向 48 に向けて押し下げることによって始動（作動）される。又、始動装置 28 は、外部シュラウド（側板）36 を有してよい。外部シュラウド 36 及び注入アセンブリ 12 は、始動装置が所定の位置へと回転させられた後にだけ始動装置 28 の押し下げを可能とする、1 個以上の協働するガイド（図示せず）を有してよい。つまり、外部シュラウド 36 及び注入アセンブリ 12 は、注入パネ 24 を始動するために回転及び押し下げの 2 方向における動作を要求するように、協働することができる。好ましい一実施形態では、シュラウド 36 は、使用者が回転させることを補助するために、多数の長手方向のリブ 39 を有する。このようにすれば、注入アセンブリ 12 は、使用者が保護手袋を着用している時などであり得る、使用者が通常の手先の器用さを欠いていることのある状況での使用のために特に適している。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

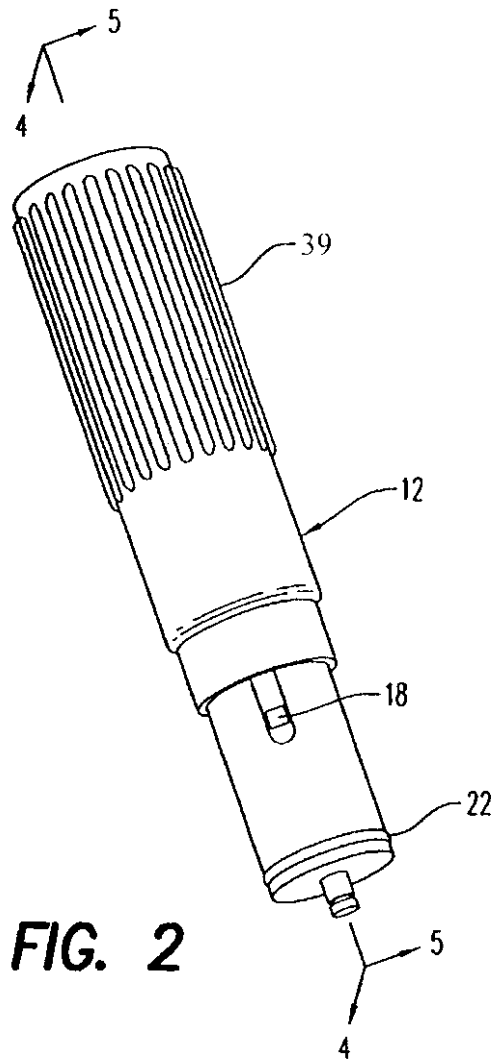
【補正の内容】

【0035】

このようにして、注入パネ 24 は、カップリング 30 の第 2 の端部 52 が第 2 の開口部 62 に達するまで、プランジャロッド 26 を注入方向 48 に向けて駆動する。図 6 に示されるように、カップリング 30 は、その弾力性により、第 2 の開口部 62 を通り抜けて広がり、ショルダ 53 をプランジャロッド 26 のリブ 54 から解放する。カップリング 30 のプランジャロッド 26 からの解放は、プランジャロッドを注入パネ 24 の力から解放し、従ってプランジャロッドが引き込みアセンブリ 16 によって注入方向 48 とは反対方向に向けて移動させられることを可能とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図2
【補正方法】変更
【補正の内容】
【図2】



【手続補正 6】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 図 4 】

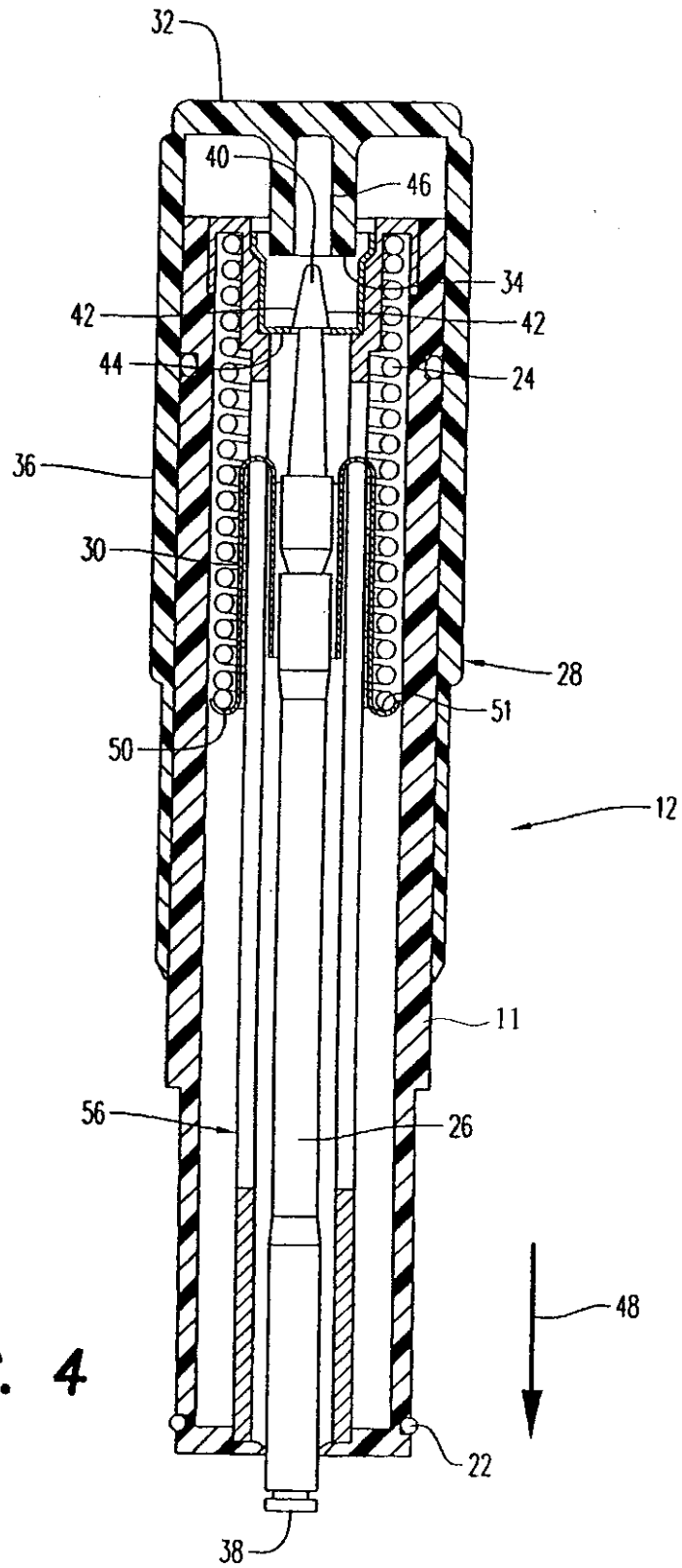


FIG. 4